鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(〇二七七)三二一一一七七
FAX(〇二七七)四〇一六〇〇〇

お正月を迎えて「戌年」

新年あけましておめでとうございます。

新年のきになるものとして干支があります。年賀状のイラストに使われたり、縁起物としても世の中にたくさんの関連のものが現れる時期です。

二〇一八年(平成30年)の干支は戌年(いぬどし)

二〇一八年の干支である戌年はとても愛情が深いですが、表面的にはシャイなタイプなため、派手なことや社交的なことは好みません。

自然と弱者を助けるため、自然に信頼を集め、リーダー的な存在にも適しています。

長所とされているものは、他人との関わり方に長けています。

家族や友人に対しての細かな気配りができますので、先のことを考え準備することに長けていたり縁下の力持ちのようなこともできますし、リーダーとして引っ張って行く力強さも併せ持っています。

自立心の強い人が多いのも戌年の性格とされており、努力を惜しみません。

協調性と柔軟性を併せ持っているため困難な状況でも決してめげずにやり遂げる力を持っています。

いい意味でも悪い意味でも捉える特徴として「頑固」な人も多いのが戌年です。

短所は子年に少し似ているところがあり、気になるとがあると突っ走っていってしまうことがあります。好奇心が旺盛と捉えれば良いのですがじっとしていられないことがあります。

以上、言い伝えでありますので気になさらずにさらーと読み流していただければよろしいかと思います。

平成30年度　年回表

百回忌	大正八年	三十七忌	昭和五十七年
五十忌	昭和四十四年	三十三忌	昭和六十一年
四十七忌	昭和四十七年	二十七忌	平成四年
四十三忌	昭和五十一年	二十三忌	平成八年
十七忌	平成十四年	十三忌	平成十八年
七忌	平成二十四年	三忌	平成二十八年
一周忌	平成二十九年		

【鳳仙寺涅槃団子の作り方】

鳳仙寺に伝わる「涅槃団子」は、祖母が昭和52年に鳳仙婦人会の設立以来、毎年涅槃会(2月15日・お釈迦様の命日)の時にご本尊様へのお供えとして作っていたそうです。涅槃会には、婦人会の皆さんがお寺に集まり、みんなで涅槃団子を作ります。お花の形の涅槃団子はとても懐かしい雰囲気のデザインで、みんなで作る事が楽しく、みんなで食べるのも楽しい行事でした。涅槃団子は当山に伝わるご馳走なのです。

鳳仙婦人会の皆さん作成の様子

❶材料／約30人分・上新粉500g・食用色素(赤・緑・黄)各5g・たこ糸・砂糖少々　※写真1

❷上新粉500グラムに熱湯500CCを加えて耳たぶ程の固さに練り合わせる。※写真2、3

❸練り合わせたら蒸し器で15分間蒸す。※写真4

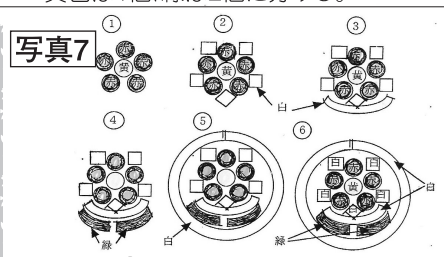
❹練り上がった物を100グラム2個、300グラム1個、600グラムを1個に分ける。　※写真5

❺これに次のように食用色素を加えて練り合わせる。300グラムを赤に、100グラムを黄色に、100グラムを緑に、600グラムは白のまま、練り上がったら赤は5個、黄色は1個、緑は2個に分ける。

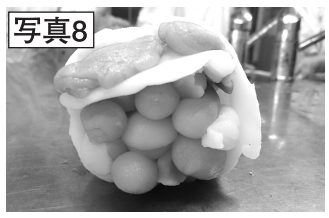
❻赤と黄色は長さ20センチの丸い棒に、緑は長さ20センチ幅3センチの板に、白は厚さ1センチ幅30センチ長さ20センチの板1枚と幅6センチ長さ20センチの板1枚、残りの白は長さ20センチを5本にする。※写真6

第23回「写経の会」のご案内

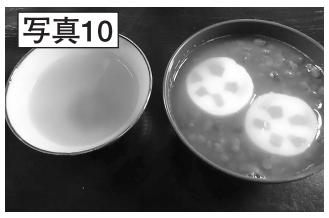
第23回写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年2回行っている恒例の行事です。開催日である2月15日は、涅槃会（ねはんえ）です。



❼出来上がった材料を図の順番に組み合わせ周りから押して適当な太さになるまで延ばす。　※写真7、8



❽最後にタコ糸で輪切りにすれば完成です。※写真9



❾いつもは、お汁粉にして食べています。※写真10

涅槃会とはお釈迦様がお亡くなりになった日です。当日は、涅槃会の法要を行った後に、写経を行う予定です。今回は、新しく写仏のお手本をいくつか用意しました。ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。

■日　時／平成28年2月15日（木）13時より
■人　数／30名くらい
※鳳仙寺婦人会の皆さんも一緒に参加します。
■参加費／1000円
持参品　小筆(または、筆ペンでも可)・ブンチン※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。

スケジュール
13時～　受付
13時10分～　涅槃会法要（お釈迦様の命日）
13時40分～　写経
15時00分頃　解散

※締め切りは2月14日（水）まで
※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。
◆お申し込み・お問い合わせは　お寺まで
電話　0277(32)1177
FAX　0277(40)6007

正賀

住職　坪井良廣
副住職・会計　坪井良樹
筆頭総代　石原竹雄
総代　峯崎一男
総代　田島輝雄
総代　天笠勝美
総代　内野正章
会計監査　岩崎岑生

世話人
木島幸雄　館盛治
板井政夫　小滝和貴　堤和由
板倉秀夫　小林當二　根岸一二
岩崎親道　小林詔一　羽田野孝栄
梅澤誠　小林満寛　廣神重子
大里政由　五味田博　平方佳介
大澤淳一　清水清　前原美佐保
小此木久四郎　清水義男　茂木邦武
金居成治　清水洋　吉田長生
金丸由太郎　田嶋愛子
金子宗吉　中村清
（あいうえお順）

『除夜の鐘』を撞いで今年の厄払いをしましょう！

ご祈祷は、随時受け付けております。

除夜の鐘

12月31日は、毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは11時30分頃を予定しています。古いお札や縁起物・お守りは、境内にてお炊き上げをいたしますのでこの機会にご持参ください。

また、本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか、新春のご祈祷、破魔矢、お守りなど縁起物の頒布をおこなっています。

元旦0時からは本堂にて本年の厄を消除する、年始めのご祈祷であります「元朝大祈祷（がんちょうだいきとう）」を行います。

ご家族の方、ご近所の方をお誘い合わせのうえ、ぜひともご参詣ください。

○寒いので、暖かい服装でお出かけ下さい。

○参道は、暗いので徐行をしながらお車の運転にご協力をお願いします。

新春祈祷

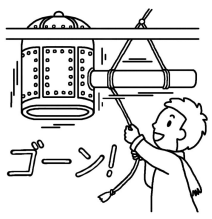
元旦より5日まで毎日、新春のご祈祷を行っています。時間は、朝9時～午後4時半頃まで。20分程の間隔で随時申し込みができます。年の初めに、厄を払い素晴らしい1年のスタートと成りますようご祈願をお勧めしております。

主な願目は、厄除開運、大願成就、方位消除、福徳開運、厄除開運、家門繁栄、善星皆来、悪星退散、家内安全、商売繁盛、社運隆昌、交通安全、諸病平癒、無病息災、安産祈願、合格祈願、諸願成就などです。

尚、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。

また、期間中に来山出来ない方はお札の郵送もいたしますのでお問い合せください。

●鳳仙寺ホームページ「桐生山」で検索。



平成30年度　厄年表

前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和34年生	61歳 昭和33年生	62歳 昭和32年生
41歳 昭和53年生	42歳 昭和52年生	43歳 昭和51年生
24歳 平成7年	25歳 平成6年	26歳 平成5年
女		
60歳 昭和34年生	61歳 昭和33年生	62歳 昭和32年生
36歳 昭和58年生	37歳 昭和57年生	38歳 昭和56年生
32歳 昭和62年生	33歳 昭和61年生	34歳 昭和60年生
18歳 平成13年	19歳 平成12年	20歳 平成11年

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数

鳳仙寺参道拡張工事が完了しました。

あたらしい参道

「滝の前面道路」の拡張工事が完了し車が相互通行できる幅が確保できました。現在ある土手を削り新しい土手を作って道を広げ、周囲の景観を保つ為に石垣にて工事をしました。お地蔵さんは、少し後ろに移動しました。後は、アスファルトの補修のみとなります。参道の橋の部分は、群馬県の管轄の為に架け替えはお寺ではできません。こちらは譲り合ってお進み下さい。

桐生倶楽部主催　桐生七福神めぐり第一弾が開催されました

拝観の様子

12月3日、一般社団法人桐生倶楽部主催の桐生七福神めぐりが開催されました。桐生倶楽部とは、明治期に設立され、桐生の産業振興に寄与した桐生懇話会が経過発展し、大正期に桐生倶楽部として発足しました。建物は市内に残る洋館で、社交倶楽部として使用されているほか、来訪客の応接・商談、文化人を招いての講演会の開催などに用いられています。

今回は、桐生倶楽部のぶらりまち歩き部会・歩く会の社員の皆さんが、歴史を学びながら桐生七福神巡りを行いました。秋の紅葉を楽しみながらのんびりとした時間を過ごしたようです。

集合写真

成道会が開催されました。

婦人会・梅花講の皆さん

12月8日、成道会が開催され鳳仙寺の婦人会員、梅花講員の皆さんが参加致しました。成道とは菩薩が修行を完成して、仏様の悟りを開くことを言います。

35歳のお釈迦様は6年間にわたり苦行をしていました。苦行は、火を裸足で渡ったり、とげの上で坐禅をして身を傷つけて体を鍛えるといったような苦行を続けると悟りが開けると当時は考えられていました。その過程で、修行僧は大怪我をしたり死んでしまう者もいました。これは本当の修行ではない！

と、苦行に見切りをつけたお釈迦様は、尼連禅河の水で身を清め、村の娘スジャータから乳粥の供養を受けて体力を回復させました。そして、悟りの場を求めてさまよい歩き、ついに尼連禅河の畔にある菩提樹の下に座られました。そして、一週間の坐禅の末、12月8日の未明にお悟りを開きました。

お　粥

そのお釈迦様の成道をお祝いし参加者全員で坐禅を行い、般若心経をお唱えしお粥をいただきました。

御詠歌だより

鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講員を募集しております。

毎月　第二・第四木曜日
午後一時から三時まで
於　鳳仙寺常磐殿

ご報告　総代さんの就任

この度鳳仙寺の総代さんに、長年に渡り世話人をされていていた天笠勝美さん、内野正章さんが就任しました。引き続き宜しくお願い致します。

●総　代
天笠勝美（元世話人）

●総　代
内野正章（元世話人）

【年末大掃除】

師走。新年にむけて年末の大掃除が行われました。座布団が入っている本堂の棚には、杉の葉を山から拾ってきて入れています。杉の葉のにおいには、ダニの繁殖を抑制する効果、殺ダニ効果があります。また、防虫、防菌、防カビの効果があります。大量に、風に吹かれて参道に落ちた『杉の葉』は、天然の防虫剤なのです。

押入に杉の葉

また、竹や棒の先にも木の細い枝や杉の葉を縛って、除夜の鐘の『すす払い』を行いました。ここでも、ゴミになってしまう杉の葉は大活躍です。

杉の葉は、お寺に落ちていますので、取り放題ですよー

除夜の鐘